

第1回 調布駅前ひろば検討会

令和元年9月24日(火)
文化会館たづくり西館 3階健康増進室

調布駅前ひろば検討会について

- 1 令和元年度に実施する市民参加
- 2 これまでの調布駅前広場の検討経緯
- 3 調布駅前広場の整備の考え方
調布駅前広場の4つの機能のイメージ
今年度の工事状況
今後の整備スケジュール
- 4 暫定開放の取組について

令和元年度に実施する市民参加

オープンハウス
 《駅前広場》
 日時 令和元年7月30日(火)
 ~8月3日(土)(4回)
 場所 調布駅前広場内(仮設テント)

意見交換会
 《福祉団体》
 日時 令和元年10月(予定)

調布駅前ひろば検討会(第1回)
 日時 令和元年9月24日(火) 午前10時から
 委員 学識経験者 4名
 秋山 哲男 [バリアフリー推進協議会]
 大橋 南海子 [都市計画審議会]
 大沢 昌玄 [元調布市道路網計画有識者委員会]
 奥 真美 [環境保全審議会]
 市民委員 5名+2名(公募市民)
 高木 かおり [バリアフリー推進協議会]
 長田 加奈子 [都市計画審議会]
 三宅 久美 [環境保全審議会]
 向井 卓 [地域福祉推進会議]
 吉葉 すみれ [子ども・子育て会議]
 荒井 賢一 [公募市民]
 高山 敬三 [公募市民]
 地域団体 4名
 鈴木 ヒデヨ [樹木あふれる調布駅前広場をつくる会]
 松澤 和昌 [第一小学校地区協議会]
 秋沢 淳雄 [商工会 商業部会]
 富澤 貴 [くすの木の家(造園関係)]

アンケート調査
 対象 無作為抽出の調布市民
 16歳以上 3000人
 内容 広場機能に求めるものについて質問


10月中旬
調布駅前ひろば検討会(第2回)

11月
利用者団体意見交換会

11月中旬
調布駅前ひろば検討会(第3回)

12月中旬
調布駅前ひろば検討会(第4回)

1月
調布駅前広場説明会
 日時 令和2年1月(予定)
 内容 駅前広場の最終案公表

An aerial photograph of a city square, likely in Japan, featuring a prominent glass skyscraper in the center. The square is paved and has several trees and a small blue structure. People are visible walking around. The sky is blue with white clouds. The text "これまでの調布駅前広場の検討経緯" is overlaid on the image.

これまでの調布駅前広場の検討経緯

これまでの調布駅前広場の検討経緯 1

	実施年月日	内容	参加人数等
平成9年度	平成9年11月20日	市報ちょうふ ・検討する範囲 ・進め方	
	平成9年11月27日, 28日, 30日	中心市街地街づくり総合計画 意見交換会	
平成11年度	平成12年3月	【中心市街地街づくり総合計画】 策定	
平成13年度	平成14年2月6日	【調布駅前広場(調3・4.29 調3・4・30) 都市計画変更決定】	
	平成14年度～15年度	【駅前広場研究会による検討】 ・学識経験者や鉄道事業者をメンバーとして、交通結節機能のあり方や駅前広場に求められる機能などについて検討	
平成16年度	平成16年5月	【駅前広場整備構想案(一次)】 公表	
平成17年度	平成17年7月	【駅前広場整備構想案(二次)】 公表	
平成20年度	平成20年10月	【中心市街地デザイン・コンセプト素案】 公表	
	平成20年10月16日, 17日, 21日	【中心市街地デザイン・コンセプト素案】 説明会	208人
	平成20年10月22日 ～11月25日	【中心市街地デザイン・コンセプト素案】 パブリックコメント	提出者: 個人17名 団体6団体 総意見数: 105件
	平成20年11月26日 ～平成21年1月31日	【中心市街地デザイン・コンセプト素案】 アンケート	回等数: 166件
	平成21年2月24日	【中心市街地デザイン・コンセプト案】 説明会 ・これまでの市民参加の過程とデザイン・コンセプトの位置付け、内容について説明及び意見交換を実施。	
	平成21年2月24日～3月24日	【中心市街地デザイン・コンセプト案】 アンケート	
平成21年度	平成21年4月20日～6月22日	【中心市街地デザイン・コンセプト案】 公表及び模型公表, アンケート	回収数: 98件
	平成21年7月	【中心市街地デザイン・コンセプト】 策定	
	平成21年10月15日, 28日	【鉄道敷地利用について意見交換】	
	平成22年3月	【調布駅前広場検討報告会】 ・中心市街地デザイン・コンセプトをもとに関係機関と協議を行い更新した基本設計(案)について報告及び意見交換を実施 ・3/23・3/24 計2回実施	86人
平成22年度	平成22年9月30日	【安藤忠雄講演会「調布に元気を取り戻せ～まちづくりを通して～」】 ・安藤忠雄による講演会を実施 ・会場ロビーにて中心市街地に関する模型及びパネルを展示 ・アンケート(講演会の感想について)	983人

これまでの調布駅前広場の検討経緯 2

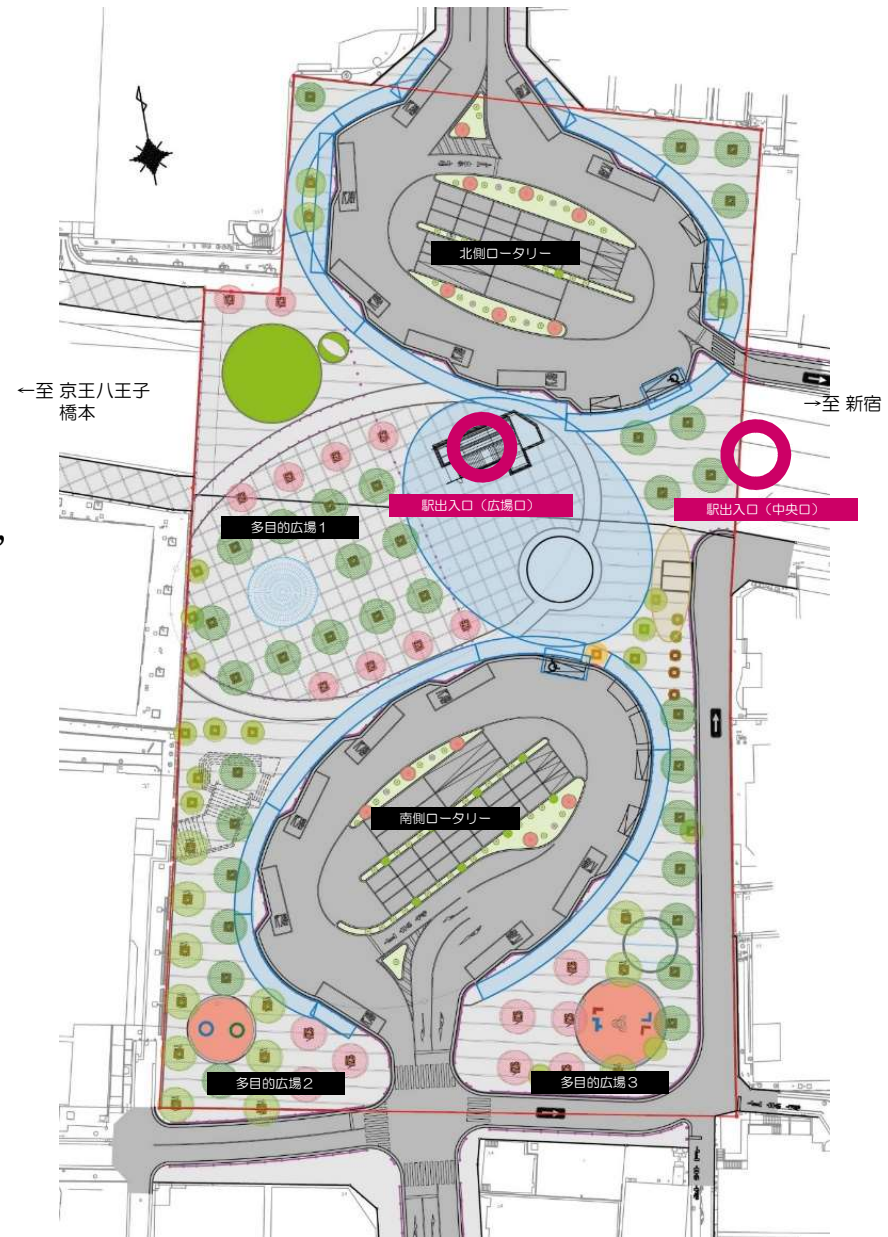
	実施年月日	内容	参加人数等
平成22年度	平成23年2月23日	【調布市障害者(児)団体連合会へのヒアリング】 ・調布駅、布田駅、国領駅の整備計画概要を説明。 ・視覚障害者誘導ブロック、ベンチ、歩道の段差、音声案内の設置等	
平成23年度	平成23年6月29日・7月1日	【調布・布田・国領駅前広場等】検討報告会 ・6/29の午後及び夜間、7/1の午後及び夜間 計4回実施 ・報告会にてアンケート(公共施設棟の機能や広場に必要機能についての項目有)	140人 回収数:63件
	平成23年10月6日	【調布市街づくり講演会「安藤忠雄-可能性をつくれ-」】 ・会場ロビーにて中心市街地に関する模型及びパネルを展示 ・アンケート(講演内容や会場の展示について)	670人 回収数:205件
	平成24年2月6日～2月27日	【調布市中心市街地活性化プラン(案)】パブリックコメント	提出者:個人7名 総意見数:11件
平成24年度	平成24年11月8日	【調布市街づくり講演会「安藤忠雄-調布に可能性はあるか-」】 ・安藤忠雄による講演会を実施。 ・会場ロビーにて中心市街地に関する模型及びパネルを展示 ・アンケート(講演内容や会場の展示について)回収数:330件	805人
	平成25年2月12日	【調布駅前広場用地測量説明会】 ・調布駅前広場整備に伴う用地測量を実施するに当たり、関係権利者を対象に、調布駅前広場の事業概要及び用地測量の実施	
平成25年度	平成25年7月	【調布駅前広場検討図】公表	
	平成25年10月	【「中心市街地まちづくり」市民説明会】 ・鉄道敷地の利用方針と駅前広場の整備内容について説明 ・10/3・10/6・10/9 計3回実施	
	平成25年12月6日、12月7日	【調布駅南地下自転車駐車場素案説明会】 ・(仮称)調布駅南地下自転車駐車場の整備概要等について説明	
平成26年度	平成26年10月10日	調布駅前広場(調3-4.29 調3-4-30) 事業認可取得	
	平成26年11月6日	【調布駅前広場事業説明会】 ・H26年10月に事業認可を取得したことに伴い、説明会を実施	139人
	平成26年12月15日 ～平成27年1月13日	【駐輪場整備に関するアンケート】	
平成27年度	平成27年8月28日	【駐輪場整備に関するアンケートの結果報告】 ・調布駅周辺の今後の駐輪場整備に関するアンケート結果及び整備概要等について説明	5人
	平成27年11月26日	調布駅南地下自転車駐車場 都市計画変更	

これまでの調布駅前広場の検討経緯 3

	実施年月日	内容	参加人数等
平成28年度	平成28年4月20日	調布駅南地下自転車駐車場 事業認可取得	
	平成28年6月8日	【都市計画自転車駐車場事業認可及び調布駅前広場の事業進捗状況に関する説明会】 ・H28年4月に地下自転車駐車場の事業認可を取得したことに伴い説明会を実施 ・駐輪場の整備内容と駅前広場の事業進捗状況について説明	60人
平成28年度	平成28年10月12日	【調布駅南地下自転車駐車場整備に伴う解体工事説明会】 ・調布駅南地下自転車駐車場の整備に伴い、既存の自転車駐車場、公園内施設(遊具、公衆便所、平和と文化のモニュメントなど)等の解体工事の概要について説明	21人
	平成28年11月17日	【調布駅北側駅前広場街築工事説明会】 ・調布駅前広場整備事業の工事内容、事業スケジュール等について説明	70人
平成29年度	平成29年4月～5月	【調布駅前広場整備に係る市民会議】 ・駅前広場の整備概要・経過等の説明、既存樹木の取扱い等についての意見交換を実施 第1回 4/17 出席委員17人 傍聴者 47人 第2回 4/26 出席委員17人 傍聴者 74人 第3回 5/25 出席委員16人 傍聴者 77人	
	平成29年7月26日	【調布駅前広場整備に係る市民会議メンバーへの報告】 ・「調布駅前広場整備にあたっての樹木に関する市の基本的な考え方」についてメンバーへ報告、意見交換を実施 ・出席委員15人	
	平成29年7月28日	【第1回 調布駅前広場整備に関する説明会】 ・既存樹木の取扱いや地下駐輪場を含む調布駅前広場等の現段階の検討状況や今後の市民参加等について説明	105人
	平成29年8月30日	【調布駅北側駅前広場の工事説明会】 ・平成29年度に実施する調布駅北側駅前広場の工事内容、安全対策等についての説明。	58人
	平成29年9月15日	【調布駅北側駅前広場の工事説明等を含む意見交換会】	12人
	平成30年1月16日	【第2回 調布駅前広場整備に関する説明会】 ・地下駐輪場や駅前広場の樹木など、現在の検討状況についての説明。	165人
	平成30年1月30日	【調布駅前広場の樹木移植等工事に関する説明会】 ・地下駐輪場整備範囲の既存樹木について、2月から着手予定の移植工事に先立ち、移植等工事の内容やスケジュール等について説明	82人
平成30年度	平成31年1月17日	【調布駅前広場説明会】 第1部 調布駅前広場のこれまでの経緯及び今後の予定について 第2部 平成30年度に着手する道路工事及び上屋工事について	140人
令和元年度	令和元年7月30日, 31日 8月1日, 3日	【調布駅前広場でのオープンハウス】	442人

調布駅前広場の整備の考え方

中心市街地街づくり総合計画において、調布駅前広場は、鉄道敷地を利用して南北一体型の駅前広場とし、バス、タクシーなどの公共交通の拠点として、必要な交通施設を備えた交通結節機能を確保するとともに、憩い・集い・語らうための「交流機能」、緑やモニュメントなど市の顔としての「景観形成機能」、利用者に公共サービスを提供する「情報提供機能」、災害時に防災活動の拠点となる「防災機能」の「4つの機能」を兼ね備えた『環境空間としての広場機能』を確保することとしています。



調布駅前広場の4つの機能のイメージ

① 憩い・集い・語らうための「交流機能」

いこい空間

- 緑を確保し、うるおいやすらぎが感じられる落ち着いた憩いの空間。
- ベンチなどを設置し、駅前での待ち合わせや語らいの場の創出。
- 大屋根を設置し、暑い日や雨の日でも快適に利用できる駅前広場。



図1 長ベンチ



図2 木陰のベンチ

にぎわい空間

- 様々なイベントに活用できる、イベント広場の創出。
- 大屋根を設置し、雨天などでもイベントが可能なイベント広場。
- 夜間でも安心して利用できる広場空間とし、昼夜間におけるにぎわいの拠点を演出。



図3 イベント広場



図4 大屋根空間でのイベント

歩行者動線の確保と回遊性の向上

- 調布駅前広場を中心に、東西と南北の市街地を連絡する歩行者空間ネットワークを形成し、中心市街地の回遊性を向上させる。
- 駅前広場を中心に商業・業務・文化・コミュニティ施設間を安全かつ快適に結ぶため、歩行者回遊軸の拠点として来訪者の交流・にぎわいの場を提供。
- イベント利用者と通行の歩行者動線が干渉しないよう、安全性や快適性に配慮。また、イベント利用以外において、歩行者動線を確保。



図5 イベント広場（夜間の利用）

調布駅前広場の4つの機能のイメージ

② 緑やモニュメントなど市の顔としての「景観形成機能」

景観や日陰など考慮した樹木の配置

- 武蔵野の自然景観をイメージし、調布市らしい多様な緑が感じられる空間の演出。
- シンボル性のある樹木を配置し、まちの玄関口としての拠点性を高める。
- 記念樹の保存を行い、まちの歴史や人のつながりが感じられる空間。
- 樹木を動線やたまり空間などに配置し、緑陰による快適な空間の創出。



図6 樹木を配置した駅前広場

モニュメント・ストリートファニチャーなど

- 調布市の顔となるモニュメント、ストリートファニチャー（ベンチ）などを設置。
- 市民や来訪者に親しまれる空間。
- 大屋根は人々が集まるシンボリックな場所を形成。



図7 モニュメント・ストリートファニチャー

噴水や芝生

- 噴水を設置することで、調布駅前の原風景を継承。
- 芝生を設置することで、座ったり寝ころんだり、子どもが安全に遊べる空間の創出。
- 緑のある風景の創出。



図8 芝生のある広場



図9 噴水（ドライ噴水方式）

調布駅前広場の4つの機能のイメージ

③ 公共サービスなどの情報を提供する「情報提供機能」

各種情報の発信機能

- 公共施設棟などを活用し、各種情報（市政情報、観光案内、バス発着情報など）を発信し、まちの玄関口としての拠点性を高める。
- 市の取り組みやトピックスなど市政情報を発信。
- 市の魅力的な観光地の情報を発信するための観光案内。
- 路線バスやリムジンバスなどの利用者のために、バス発着情報を発信。
- 災害時に防災情報を発信。



図10 デジタルサイネージ

④ 防災活動の拠点となる「防災機能」

帰宅困難者対応や防災拠点としての防災機能

- 災害時などの非常時には、駅前広場にて帰宅困難者対応を実施。
- 公共施設棟などを活用し、帰宅困難者への防災情報を提供。
- 公共施設棟は、帰宅困難者対応のために備蓄倉庫機能を確保。
- 災害時用のトイレの設置（マンホールトイレなど）。
- 大屋根を帰宅困難者の退避スペースとして活用。



図11 広場を避難場所として活用